

歴史の散歩道

(59)

平成九年（一九九七）に経ヶ岳の山頂から大小二つの経筒が発見されたという新聞記事を記憶されている市民のかたがあると思いますが、その小さい方の銅製の経筒には、次のように彫られていました。

甲州塩田之住侶
十羅刹女 本願竹陰
奉納法華妙典六十六部
三十番神 小聖建營
大永二年壬午今月吉日

また、この銘文の右に異なる書体で追刻と思われる銘文がありました。

越前国平泉寺上列位乾秀怒友（花押）

この経筒の銘文から山梨県一宮町の塩田の竹陰と建營の二名の六十六部聖が、施主の要請にこたえて、平泉寺の納経所に納めたことがわかります。施主の氏名はわかりませんが、法華経の経典を料紙に書いて経筒の中に納めたものです。聖は施主の願いにこたえて、この平泉寺の奉納所に埋めたものでし

経ヶ岳から出土した

一五二二年の経筒

よう。

梵字のバクは釈迦如来をさします。法華妙典は法華経のことであり、この経典を守護するのが、十羅刹女と三十番神です。十羅刹女は法華行者を守護する十人の女神であり、三十番神は、法華経を守護する三十人の神々をさします。大永二年は西暦一五二二年にあたり、経筒を奉納した年です。その後平泉寺の僧侶の乾秀怒友が経ヶ岳の山頂に移して埋納したのではないのでしょうか。経ヶ岳という呼び方も、ここからの命名と思われる。

（参考文献）山梨県史研究（6号）
勝山市文化財保護委員 佐野光臣



経ヶ岳山頂から出土した経筒
（松岡町教育委員会所蔵）



編集後記

▶秋も深まり、朝晩の冷え込みから木々の葉も色づき始めました。今年には福井県で国民文化祭が開催され、勝山では恐竜とITの側面から文化活動を発信し、好評でした。うまいもん祭とクロカンマラソンも盛況のうちに終わりました。各地区でも文化祭が催され、みなさん楽しめたことと思います◆年賀状の販売や越前カニ漁解禁などのニュースを見聞きし、時の経つ早さを感じます◆この季節になると、日暮れ時の民家からこぼれる灯火のぬくもりに、家路を急いだ子どもの頃のことが思い出されます。やはり、ふるさとはいいものです。



休日・祝日救急当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

11/20 (日)	福井社会保険病院 ☎88-0350
11/23 (水)	石川医院 ☎89-1008
11/27 (日)	木下医院 ☎87-3333
12/4 (日)	竹下中央内科医院 ☎88-1121
12/11 (日)	武藤外科医院 ☎88-0266

☎消防署(☎88-0400)



交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成17年10月末	前年比
総件数	390件	-31
人身事故 (うち高齢者)	84件 (21)	-12 (-10)
死者 (うち高齢者)	3人 (2)	-1 (0)
傷者	114人	-6
物損事故	306件	-19



11月の納税

国民健康保険税▶3期

納期限▶11月30日(水)

口座振替日▶11月28日(月)



人口の動き

	9月末現在	自然動態		社会動態		11月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,300人	8	-12	14	-23	13,287人	-13
女	14,594人	8	-15	27	-44	14,570人	-24
合計	27,894人	16	-27	41	-67	27,857人	-37
世帯数	8,133世帯					8,120世帯	-13

毎月第3日曜は

家庭の日

働く人びとに感謝し

自分でできる仕事や奉仕を受け持とう



火災発生

☎88-5100(テープ吹き込み)